



三菱電機パッケージエアコン フリープラン システム別売部品

2分岐ジョイント(CMY-Y62-GG2)

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。



注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

●据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。



警告

ポリ袋は幼児の手の届くところに置かない。

- 頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。

据付けは、この据付工事説明書に従って確実に行う。

- 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。

- お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。

据付け(移設)・電気工事をする前に



注意

冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。

- 不完全な断熱工事を行うと配管など表面が結露して、露タレなどを発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。
- 接続部の断熱施工は、気密試験後に行ってください。

電源配線は、電流容量に合った規格品を使用すること。

- 漏電や発熱・火災の原因になります。

ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するように施工し、結露が生じないように保温すること。

- 配管工事に不備があると水漏れし、天井・床その他家財などを濡らす原因になります。

1 箱の中には下記の物が入っています。作業を始める前にご確認ください。

①説明書 本紙1枚	②2分岐ジョイント液管(細) 1ヶ	③2分岐ジョイントガス管(太) 1ヶ	④パイプカバー 1ヶ	⑤パイプカバー 1ヶ	⑥パイプ φ9.52-φ6.35 液管用2ヶ ガス管用1ヶ	⑦パイプ φ15.88-φ12.7 ガス管用1ヶ
⑧パイプ φ19.05-φ12.7 ガス管用1ヶ	⑨パイプ φ19.05-φ15.88 ガス管用2ヶ	⑩パイプ φ19.05-φ22.2 ガス管用1ヶ	⑪パイプ φ9.52-φ12.7 液管用3ヶ	⑫パイプ φ15.88-φ19.05 ガス管用1ヶ	⑬パイプ φ19.05-φ25.4 ガス管用2ヶ	

注) 上記以外に次の物を現地で手配してください。

- (1)断熱材シール用テープ (2)冷媒回路用延長パイプ

2 下記のことにご注意して作業を行ってください。

1. 室外ユニット据付工事説明書に記載されている冷媒配管長制限、室内ユニット取付制限を守ってください。
2. 2分岐ジョイントと配管または、⑥~⑬パイプとの接続は、ろう付にて行ってください。ろう付は無酸化ろう付にて行ってください。
3. 2分岐ジョイントにはストッパーが付いています。接続するパイプが止まるまで奥に押し込んでください。
4. 2分岐ジョイントの取付姿勢についての制約はありません。
5. 配管接続作業の際、配管内部にゴミなどの異物が入らないようにしてください。
6. 冷媒配管には全て断熱材を施工してください。

適応機種 スリムK/マルチS/Fitマルチシリーズ

3 冷媒配管サイズの選定および2分岐ジョイントの使い方

1. 接続する配管は現地で手配してください。
2. 各部の配管サイズを表1、表2、表3により決定してください。
3. 2分岐ジョイントは2項で選んだ全ての配管サイズに接続できるようにする必要があります。

図1、および表4~表9を参照して実施してください。

配管サイズに合うように、I、IIを適宜判断して接続してください。

- I 加工なしで使う。 II パイプを接続して使う。

表4

管種	φ9.52/ φ15.88	φ9.52/ φ19.05	φ9.52/ φ25.4	φ12.7/ φ25.4
液管(細)〔②〕	Z寸法	Z寸法	Z寸法	パイプ⑥を接続
ガス管(太)〔③〕	パイプ⑦を接続	Z寸法	パイプ⑧を接続	パイプ⑨を接続

表5

管種	φ6.35/ φ12.7	φ9.52/ φ15.88	φ9.52/ φ19.05	φ9.52/ φ22.2
液管(細)〔②〕	パイプ⑥を接続	Z寸法	Z寸法	Z寸法
ガス管(太)〔③〕	パイプ⑦を接続	パイプ⑧を接続	Z寸法	パイプ⑨を接続

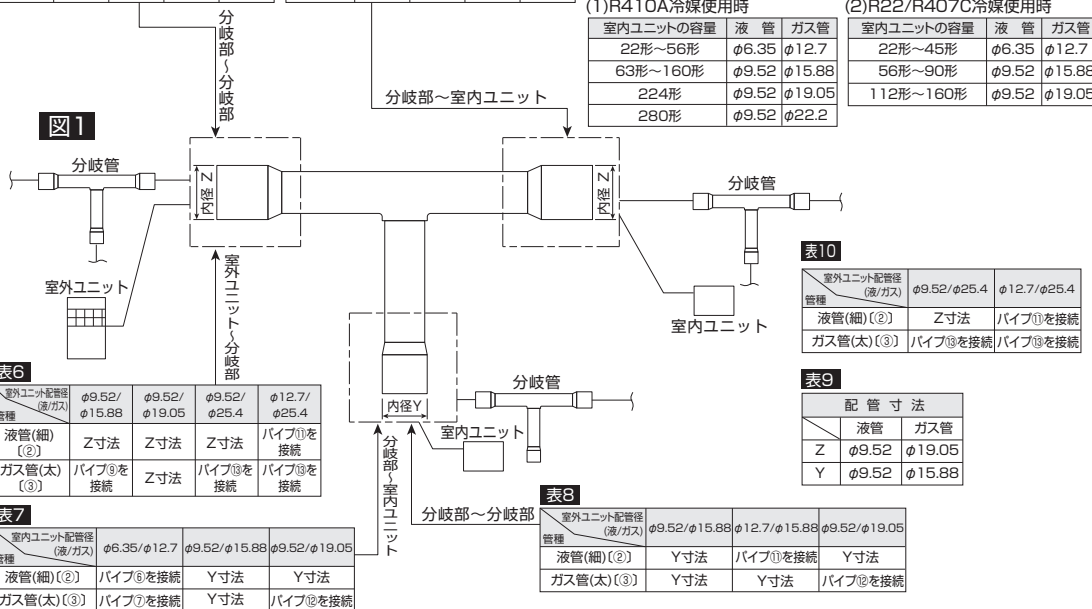


表1 室外ユニットへの配管サイズ

室外ユニット能力	液管	ガス管
~160形	φ9.52	φ15.88
224形・280形	φ9.52	φ25.4

室外ユニット能力	液管	ガス管
80形	φ9.52	φ15.88
112~160形	φ9.52	φ19.05

表2 分岐部間配管サイズ

下流室内ユニットの合計容量	液管	ガス管
~160形	φ9.52	φ15.88

下流室内ユニットの合計容量	液管	ガス管
~90形	φ9.52	φ15.88
91形~	φ9.52	φ19.05

表3 室内ユニットへの配管サイズ

室内ユニットの容量	液管	ガス管
22形~56形	φ6.35	φ12.7
63形~160形	φ9.52	φ15.88
224形	φ9.52	φ19.05
280形	φ9.52	φ22.2

室内ユニットの容量	液管	ガス管
22形~45形	φ6.35	φ12.7
56形~90形	φ9.52	φ15.88
112形~160形	φ9.52	φ19.05

表6

管種	φ9.52/ φ15.88	φ9.52/ φ19.05	φ9.52/ φ25.4	φ12.7/ φ25.4
液管(細)〔②〕	Z寸法	Z寸法	Z寸法	パイプ⑥を接続
ガス管(太)〔③〕	パイプ⑦を接続	Z寸法	パイプ⑧を接続	パイプ⑨を接続

表7

管種	φ6.35/ φ12.7	φ9.52/ φ15.88	φ9.52/ φ19.05
液管(細)〔②〕	パイプ⑥を接続	Y寸法	Y寸法
ガス管(太)〔③〕	パイプ⑦を接続	Y寸法	パイプ⑧を接続

表10

管種	φ9.52/φ25.4	φ12.7/φ25.4
液管(細)〔②〕	Z寸法	パイプ⑥を接続
ガス管(太)〔③〕	パイプ⑦を接続	パイプ⑧を接続

表9

配管寸法	液管	ガス管
Z	φ9.52	φ19.05
Y	φ9.52	φ15.88

表8

管種	φ9.52/ φ15.88	φ12.7/ φ15.88	φ9.52/ φ19.05
液管(細)〔②〕	Y寸法	パイプ⑥を接続	Y寸法
ガス管(太)〔③〕	Y寸法	Y寸法	パイプ⑧を接続

4 パイプカバー(断熱材)取付作業

- 液管(細)②にパイプカバー④を合わせるように取付けてください。パイプカバー④の合わせ部は断熱材シールテープ(現地手配)にてシールしてください。(図2参照)
- ガス管(太)③も液管(細)②同様に作業してください。
注1. 冷媒配管(現地手配)には全て断熱材を施工してください。
また、市販の断熱材を使用する場合は、耐熱性断熱材(厚さ15mm以上)を使用してください。
注2. パイプカバーは高温にて若干収縮しますので、断熱材はラップ代を設けて施工してください。

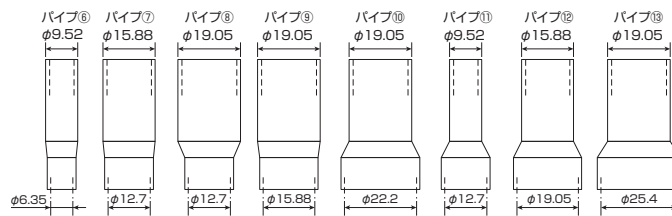


図2 (液管)

